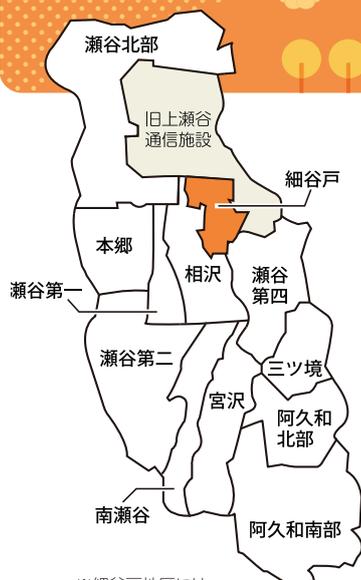


細谷戸地区



※細谷戸地区には相沢六・七丁目の一部も含まれます。

1 地区の概況

- ◆ 県営住宅が中心となる地域で、世帯数は約1,400戸。
 - ◆ GREEN×EXPO 2027の会場である旧上瀬谷通信施設に隣接しており、今後大きな変化が予想される。
 - ◆ 年齢構成は、65歳以上の割合が約46%と区で最も高い。
 - ◆ 家族構成は、区平均と比べて、単身・夫婦のみ・ひとり親と子の世帯が多い。近年は外国籍の世帯も増加している。
- ※連合町内会は令和7年4月の総会をもって解散。

2 第1期～第4期で取り組んだ主な活動や事業

- ◆ ビーハイブ活動^(※)を進める実施委員会を設立
 - 自治会単位での高齢者見守り活動 ● 安心キットの配布、見守りパトロール ● 親子交流会
 - ⇒ 平成31年度から「おあしす102実施委員会」内で活動を継続
 - ※「ビーハイブ活動」
孤独死や孤立を防ぐことを目的にした、ビーハイブ(蜂の巣)の様にきめ細かい高齢者の見守り体制づくり。
- ◆ 細谷戸県営住宅の空き家を活用した拠点おあしす102の運営
- ◆ 高齢者を対象とした、はつらつクラブ(転倒予防体操)《毎週月曜日》
- ◆ お助けパートナー(高齢者世帯への軽作業の手伝い)
- ◆ 高齢者定期訪問(地区社協、地区民児協による)
- ◆ 敬老祝賀会の開催《年度内1回》
- ◆ 一人暮らし高齢者と障害者の集い《年度内1回》
- ◆ サロン細谷戸《月1回》 ◆ ボツ茶会《月2回》
- ◆ ニコニコ会(健康麻雀)《月4回》 ◆ 移動販売(4カ所)《毎週水曜日》
- ◆ 子育てお母さんのつどい《偶数月》 ◆ 細谷戸こども食堂《月1回》
- ◆ その他 研修見学参加



はつらつクラブ



移動販売

3 第5期計画に向けての課題

- ◆ 高齢者の安否確認や見守り方法の継続・拡充
- ◆ 地域の子どもを育むための活動について検討
- ◆ 各事業を推進に向け次期役員(ボランティア含む)の育成
- ◆ 地区の活動並びに地域福祉保健計画をよりよく知ってもらうための広報活動

4 推進母体

細谷戸地区社会福祉協議会、細谷戸地区民生委員児童委員協議会

「心が通じる地域づくり・地域は家族」

—高齢化社会のおあしす地域—

【取組姿勢】

瀬谷区で唯一の高齢者向け集会施設「おあしす102」を活用し、LSA（生活援助員）と連携を図りながら、地域の見守り体制の強化と居場所づくりへつなげていく。

あわせて、世代を超えた住民間の交流の機会を創出し、地域全体のつながりを深めることを目指す。

【取組内容】

1 地域の見守り体制の強化

- ・ 安心キットの必要性を幅広く伝え、可能な限りの設置を呼びかける
- ・ 引き続き、既に配布している安心キットの中身の点検を行う
- ・ 地域のパトロール活動を持続可能な範囲で実施する
- ・ LSA（生活援助員）と連携し見守り対象者の把握をする

2 地域内の子ども育成対策、子どもと大人の交流

- ・ 子どもが安心して過ごせる環境づくりに注力し、「子どもと大人」との交流の場を増やす
- ・ 地域と学校の連携を深める
- ・ 外国にルーツのある住民も含めた、みんなが参加できる行事を検討、実施していく
- ・ おあしす102を活用し、地域住民の交流の場としていく

3 災害時の対応、災害時の行動

- ・ 障害のある方への支援方法について、近隣施設と連携し検討していく
- ・ 震災や火災時については、自治会等が協力して進めていく

4 障害のある方の把握と援護、広報活動の推進

- ・ プライバシー等に注意し、できる範囲で障害のある方を把握する
- ・ 定期訪問の機会を利用して、声かけを行う。相談ごと、困りごと等の話を聞き、関係機関等と連携する
- ・ 掲示板を活用しながら、地域情報を発信し広報活動を推進する



細谷戸駐在所

特別養護老人ホーム
愛成苑

せや福祉ホーム

連携

わらべ細谷戸保育園

地区支援チーム

（区役所、中屋敷地域ケアプラザ、区社協）

相沢小学校

東野中学校